

実務経験のある教員による授業一覧

(医療専門課程歯科衛生士科) 令和8年度

必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業コマ数	授業時数	単位数	授業方法			場所					企業等との連携	
									講義	演習	実技・実習	校内	校外	専任	兼任	実務経験		
○			英語学	歯科臨床において患者対応できる英会話の基礎を学ぶ	1通	30	60.0	4	○			○				○	○	
○			一般教養・日本語	社会人としての一般常識・日本語力を養う	1前	15	30.0	2	○			○				○	○	
○			ビジネス実務	チーム医療の担い手として社会人の対応法を身に着ける	1前	15	30.0	2	○			○				○	○	
○			解剖組織学・口腔組織学	人体の構造・機能および組織発生の基礎的事項を学ぶ。また歯および口腔に隣接する組織の構造を学ぶ。	1前	24	48.0	3	○			○				○	○	
○			生理学・口腔生理学	生体および口腔の機能・メカニズムを学ぶ	1後	24	48.0	3	○			○				○	○	
○			生化学・口腔生化学	身体を構成する物質について代謝や体内での役割を理解する。また歯・口腔を取り巻く器官の生化学について基本的事項を学ぶ	1後	12	24.0	1	○			○				○	○	
○			口腔解剖学・歯牙解剖学	口腔および歯牙の構造・メカニズム・特徴について学し、口腔の営みについて理解する	1前	26	52.0	3	○		△	○				○	○	
○			病理学・口腔病理学	全身の代表的病変について病態生理を理解し、さらに口腔領域の主な疾病について理解を深める	1通	24	48.0	3	○			○				○	○	
○			微生物学・口腔微生物学(臨床検査)	感染性疾患の原因である微生物について学び発症のメカニズムを理解し予防に繋げる。また口腔微生物の種類と生態および病院論について学び歯科治療に役立てる。	1後	24	48.0	3	○		△	○				○	○	
○			薬理学	薬物の作用機序生体内動態を理解すると同時に各種薬剤の特性を疾病と関連付けながら理解する	1後	15	30.0	2	○			○				○	○	
○			衛生学・地域保健学	健康と疾病の捉え方、健康の保持増進法、疾病予防法について学び地域保健活動の基礎的知識を身に着ける	2後	15	30.0	2	○			○				○	○	
○			口腔衛生学	口腔環境、口腔疾患の病因論・予防法等口腔衛生の基礎的事項を学ぶ	1後	24	48.0	3	○			○				○	○	
○			地域歯科保健学	地域歯科保健の基礎的事項を学び歯科衛生士としての展開法を理解する	2前	24	48.0	3	○			○				○	○	
○			衛生行政・社会福祉	衛生行政の概要および医療の動向を理解し、業務遂行にあたっての法的制度・社会保障・福祉制度についても理解する	2後	15	30.0	2	○			○				○	○	
○			歯科衛生士総論	歯科衛生士の業務について概要を理解させ資格取得に向けての意欲を高めると同時に医療倫理を理解させる	1前	15	30.0	2	○			○				○	○	
○			歯科臨床概論	歯科医療・歯科疾患の概要・歯科治療の概要を理解し医療人としての自覚を促す	1前	16	32.0	2	○			○				○	○	
○			保存修復学	歯の硬組織疾患に対する修復法・使用器材および歯科衛生士の担う役割を理解する	1後	16	32.0	2	○			○				○	○	
○			歯内療法学	歯髄疾患および根尖性歯周疾患に対する治療法・使用器材および歯科衛生士の担う役割を理解する	1後	16	32.0	2	○			○				○	○	
○			歯周病予防基礎	歯周疾患予防・治療の概要を理解し、歯科衛生士の担う役割を具体的にイメージさせる	1後	8	16.0	1	○			○				○	○	
○			歯周療法学	症例をとおり歯周治療の展開法を実感的に理解させると同時に歯周外科の概要および使用器材について理解を深める。	2前	12	24.0	1	○			○				○	○	
○			歯科補綴学	欠損補綴治療・使用器材および歯科衛生士の担う役割を理解する	2前	16	32.0	2	○			○				○	○	
○			口腔外科・歯科麻酔学	口腔外科領域における主な疾病の治療法、全身疾患との関連性および歯科衛生士の担う役割を理解する	2前	16	32.0	2	○			○				○	○	
○			小児歯科学	小児の成長発育・特性および小児治療法を理解し、歯科衛生士として患者管理・指導ができる知識を習得する	2後	16	32.0	2	○			○				○	○	
○			歯科矯正学	矯正治療の目的・治療法を理解し、歯科衛生士として患者管理・指導ができる知識を習得する	2後	16	32.0	2	○			○				○	○	
○			障害者歯科学	心身障害者の抱える各種疾患について理解し、歯科的問題点を把握した対応法・指導法を習得する	2後	10	20.0	1	○			○				○	○	
○			高齢者歯科学	高齢者の身体的・精神的・社会的特徴を理解した口腔疾患の予防法・治療法を学ぶ。また、口腔ケアの展開法を習得する	2前	10	20.0	1	○			○				○	○	

○		歯科放射線学	歯科放射線に関する基礎知識を学び撮影法・読影法を習得する	2 前	10	20.0	1	○	△	△	○					○	○
○		う蝕予防処置法Ⅰ	フッ化物によるう蝕予防のメカニズムを学ぶ	1 後	6	12.0	2	○			○					○	○
			各種う蝕予防法の理解と技術の習得		14	28.0		○			○		○				○
○		う蝕予防処置法Ⅱ	安全かつ効果的なう蝕予防処置法の立案と技術の習得	2 後	20	40.0	1	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○
○		歯周病予防処置Ⅰ	歯周疾患予防処置法の基礎的事項の理解と基礎技術の習得	1 通	45	90.0	3	△		○	○				○	○	
○		歯周病予防処置Ⅱ	歯周疾患予防処置の安全かつ効果的な技術の習得	2 通	45	90.0	3	△		○	○				○	○	
○		歯周病予防処置Ⅲ	歯周疾患予防処置法の基礎的事項を再確認し、効率的な展開法を理解し、疾病予防・健康増進の担い手としての役割を理解する	3 前	15	30.0	1	△		○	○				○	○	
○		歯科保健指導Ⅰ	歯科保健指導を展開できる基礎知識と技術の習得	1 通	45	90.0	3	○		○	○				○	○	
○		歯科保健指導Ⅱ	多様化するニーズに対応できる歯科知識の習得と歯科衛生過程に沿った展開法の習得	2 通	45	90.0	3	○	○	○	○				○	○	
○		歯科保健指導Ⅲ	各フィールドで歯科保健指導を実践できる知識・技術・展開法の再確認	3 通	15	30.0	1	△	○	○	○				○	○	
○		栄養指導Ⅰ	心身の健康は食生活との関連性が高いことを認識し、栄養に関する基礎的事項および対象別指導ポイントを学ぶ	1 後	15	30.0	2	○			○					○	○
○		栄養指導Ⅱ	自分自身の食生活の振り返りも含め、現在の食を取巻く問題点を把握した指導ポイントの理解	2 前	8	16.0	1	○			○					○	○
○		歯科診療補助Ⅰ	歯科診療補助業務を実践するための基礎知識と基礎技術の習得	1 通	45	90.0	3	○		○	○				○	○	
○		歯科診療補助Ⅱ	各処置に即した歯科診療補助を展開するための知識と技術の習得	2 通	45	90.0	3	△	○	○	○				○	○	
○		歯科診療補助Ⅲ	歯科臨床で対応できる歯科診療補助の知識と技術の習得	3 通	15	30.0	1	△		○	○				○	○	
○		歯科材料学	歯科診療の流れに即した効率の良い歯科診療補助を展開するための歯科材料に関する基礎知識と技術の習得	2 後	16	32.0	2	○		△	○				○	○	
○		摂食嚥下・介護学	高齢者の身体的・精神的・社会的特徴を踏まえ、食物摂取や嚥下に関するメカニズムを十分理解した口腔ケア技術の習得。	2 後	26	52.0	3	○		△	○					○	○
○		看護学	看護の概念を理解し基本的看護技術の習得を図る	1 後	8	16.0	1	○		△	○					○	○
○		臨地臨床実習Ⅰ	歯科診療所の見学および高齢者施設でのボランティアをとおし、歯科治療の概要・衛生士業務の理解を深め、医療人としての自覚を促す	1 前	23	45.0	1				○		○	△	○	○	○
○		臨地臨床実習Ⅱ	歯科大学病院、歯科診療所での実習をとおし、歯科衛生士業務について実践的理解を深める	2 後	135	270.0	6				○		○	△	○	○	○
○		臨地臨床実習Ⅲ	総合病院歯科口腔外科、歯科診療所および臨地各フィールドでの実習をとおし、知識・技術の習得を図る	3 通	293	585.0	13				○		○	△	○	○	○
○		卒業研究	歯科診療所実習で担当した歯科保健指導症例について、歯科衛生過程に即したまとめ抄録作成および発表を行い理解を深める	3 通	40	80.0	2				○		○		○	○	○
○		情報処理Ⅰ	ワード、パワーポイントの基本的操作法を習得し歯科衛生士業務の展開に繋げる	1 後	15	30.0	1	△	○		○					○	○
○		情報処理Ⅱ	エクセルの基本的操作法を習得し歯科衛生士業務の展開に繋げる	2 前	15	30.0	1	△	○		○					○	○
○		コミュニケーションⅠ	自己と向き合い自己理解を深めると同時にコミュニケーションの基礎を身に着ける	1 通	20	40.0	2	△	○		○					○	○
○		コミュニケーションⅡ	医療人に求められるEQを理解し、患者様に寄り添えるコミュニケーション能力を身に着ける	2 前	10	20.0	1	△	○		○					○	○
○		カウンセリング	カウンセリングの基礎を学び、患者様との信頼関係を構築するためのカウンセリング技術を理解する	2 後	10	20.0	1	△	○		○					○	○
○		歯科医療保険事務	医療保険の基礎知識、診療録の記入・整理法、診療報酬請求事務について学ぶ	2 後	24	48.0	2	○	○		○				○	○	
○		手話	聴覚障害について理解すると同時に手話によるコミュニケーション法を習得する	2 前	16	32.0	1	△	○		○					○	○
○		アロマセラピー	健康増進におけるアロマセラピー位置づけを理解し、アロマの知識・技術の学びをとおし人を思いやる心を育む	1 後	16	32.0	1	△	○		○					○	○
		国家試験対策	歯科衛生士国家試験に向けて補習講義・模擬試験棟を活用しながら取り組ませる	3 後	150	300.0					○		○		○	○	
合計					57科目			122 単位									